

バリアフリー化と 学校施設改善が 前進!

! この2年間の地域と議会での活動の一部を紹介します。

☆梅田貨物駅の吹田移転計画中止を要求。義務ではない2005年の11回の説明会を実施させることができました。



▲2月21日千一小学校での説明会

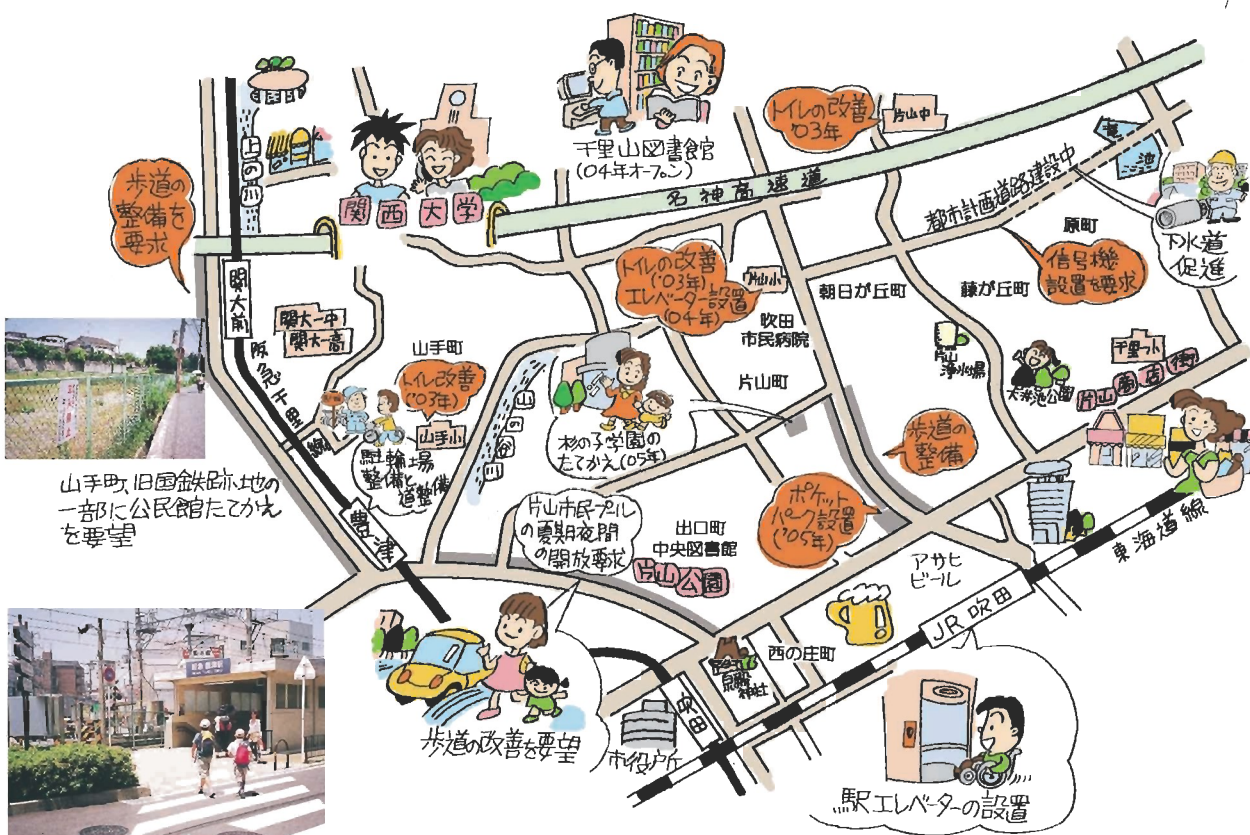
☆国民健康保険料の値上げストップへ

☆介護保険制度の充実と不足している老人ホームなど建設の推進を要求。

☆30人学級と学校図書館の充実を要求。

☆学童保育で4年生以降の障害をもつ児童の受け入れなど障害者施策の充実を要求

☆地域経済振興に向けての条例制定や住宅改造助成制度の実現などを要求。3000軒の業者アンケート調査を実現しました。



山手町旧国鉄跡地の一部に公民館をかきこむ要望



豊津駅前エレベーターの設置

建設事業のムダや浪費の見直しで成果

■ごみ減量と焼却場建てかえ計画の縮小 (約200億円の節約)

くり返しの要求で、事業計画を縮小し事業費を削ることができました。遅れている事業所ごみの分別資源化も推進させ、この5年間で約5%の焼却ごみをへらしました。この成果も入れた計画再縮小と危険かつ高価な2次処理技術(灰溶融)導入の再検討で一層の節約を求めています。

■片山公園再整備のムダ

現市政は、再整備が終わったばかりの片山公園を3年後から約15~16数億円もかけて城風にやりかえることを計画しています。



▲片山公園頂上から「メロード吹田」方面を望む

むだ使いはやめ、福祉・くらしに回せ! 国民健康保険料の値上げなど市民犠牲の「財政健全化」計画は一から見直せ! と要求しています。

■不採算のミニ発電所建設をストップさせる (5000万円以上の節約)

市は、2004年度予算に、府営水道引き込み圧によるミニ発電所建設をもちこみました。建設費だけで7000万円もかかるが得られる発電による金額は年間100万円(耐用年数は16年間)。建設中止要求で予算執行停止となりました(2005年5月議会)。

■ポケットパーク(片山2丁目)建設で約3000万円の節約

市は当初、100坪余りの土地に1億3000万円の豪華なミニ公園建設を計画。公園整備は計画的にと要求しつつ、この件では約1億円程度に建設費用を削減させることができました。



▲2005年建設の予定地

■不要な安威川ダム

水需要は10年以上減少しているのに過大な需要予測でダム建設の計画が。事業費約1400億円で、現市政も約1億円負担。ダム建設中止を主張するとともに市の水需要予測を見直させ、府に報告させました。

日本共産党吹田市議会議員団

市議会
報告

中央版



村口はじめ 議員

市政相談は日本共産党吹田市議会議員団まで

TEL.06-6337-6853 FAX.06-6337-6854

E-mail:jcp-suita-gin@sutv.zaq.ne.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています。